
ロゴのコンセプト

卵を支えている InaRIS

グラフィックデザイナー 佐藤 卓

InaRISのロゴは、ロゴの中の小文字「na」の上部の窪みで、卵を支えている形をしています。これは、地道に研究を続ける研究者を卵に見立て、InaRISがそれを支え、大事に温めているイメージです。卵は、自分で自分を守ることができず、誰かが守らなければいけません。そして大事に温められた卵からは、のちに雛が生まれ、そして育て大空に羽ばたいて行くことでしょう。InaRISは、このロゴにそのような想いを込めて、科学の基礎研究に勤しむ研究者を、少しでも支え続けたいと願っています。そして卵に施された群青色は、元々鉱物の瑠璃（ラピスラズリ）からつくられた日本画材で最も貴重な色として、古来より大切に使われてきた日本の伝統色です。時間を掛けて科学の基礎研究を支えるInaRISに相応しい色として、自然が与えてくれたこの特別な色を選びました。

